

No.	一般名	薬効分類	改訂内容
07-025	塩酸アンブロキシール	223 去たん剤	【副作用】の「重大な副作用」の項に「皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson症候群)」を追記した。
07-026	プロピオン酸フルチカゾン(吸入剤)	229 その他の呼吸器官用薬	【用法・用量に関連する使用上の注意】の項を新たに設け、「症状の緩解がみられた場合は、治療上必要最小限の用量で投与すること。」を追記し、 【重要な基本的注意】の項に「感染を伴う喘息症状の増悪がみられた場合には、ステロイド療法の強化と感染症の治療を考慮すること。」を追記した。
07-027	インフリキシマブ(遺伝子組換え)	239 その他の消化器官用薬	【重要な基本的注意】の項に「本剤を含む抗TNF製剤を投与されたB型肝炎ウイルスキャリアの患者において、B型肝炎ウイルスの再活性化が報告されている。B型肝炎ウイルスキャリアの患者に本剤を投与する場合は、肝機能検査値や肝炎ウイルスマーカーのモニタリングを行うなど、B型肝炎ウイルスの再活性化の徴候や症状の発現に注意すること。なお、これらの報告の多くは、他の免疫抑制作用をもつ薬剤を併用投与した患者に起きている。」を追記し、【副作用】の「重大な副作用」の項の肝機能障害に関する記載を整備した。
07-028	エタネルセプト(遺伝子組換え)	399 他に分類されない代謝性医薬品	【重要な基本的注意】の項に「本剤を含む抗TNF製剤を投与されたB型肝炎ウイルスキャリアの患者において、B型肝炎ウイルスの再活性化が報告されている。B型肝炎ウイルスキャリアの患者に本剤を投与する場合は、肝機能検査値や肝炎ウイルスマーカーのモニタリングを行うなど、B型肝炎ウイルスの再活性化の徴候や症状の発現に注意すること。なお、これらの報告の多くは、他の免疫抑制作用をもつ薬剤を併用投与した患者に起きている。」を追記し、 【副作用】の「重大な副作用」の項に「肝機能障害」を追記した。
07-029	リバビリン(錠剤) ペグインターフェロン アルファ-2a(遺伝子組換え)	625 抗ウイルス剤 639 その他の生物学的製剤	【副作用】の「重大な副作用」の項に「皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson症候群)、中毒性表皮壊死症(Lyell症候群)、多形紅斑」を追記した。
平成19年8月8日			
07-030	テリスロマイシン	614 主としてグラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	【警告】の項を新たに設け、「意識消失、肝炎等の重大な副作用があらわれることがあるので、他の抗菌剤が使用できないか、無効の場合にのみ適用を考慮すること。」を追記し、 【禁忌】の項に「重症筋無力症の患者」を追記し、 【用法及び用量に関連する使用上の注意】の項に「意識消失や視覚障害があらわれることがあるので、原則として就寝前に服用させること。」を追記し、 【副作用】の「重大な副作用」の項の重症筋無力症の悪化に関する記載に「重症筋無力症の悪化」を記載整備した。